

修士論文（要旨）

2014年1月

中国人日本語学習者における依頼表現の使用に関する考察
－日本語母語話者の発話と比較して－

指導 堀口純子 教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

212J3016

沈 莹

目次

第1章	はじめに	1
1.1	研究背景	1
1.2	研究契機	1
1.3	研究目的	2
第2章	先行研究	3
2.1	依頼の定義	3
2.2	依頼表現に関する研究	3
2.3	中国人日本語学習者を対象とした依頼表現に関する研究	4
2.4	本研究の位置づけ	4
第3章	調査概要	5
3.1	予備調査	5
3.2	本調査	5
3.2.1	談話完成テスト調査	5
3.2.2	教科書調査	6
3.2.3	フォローアップインタビュー調査	7
第4章	調査結果と分析及び考察	9
4.1	依頼会話の前置き部分	9
4.1.1	各依頼場面の調査結果と特徴の対照分析	10
4.1.2	各協力者における前置き部分の分析と考察	18
4.2	依頼会話の要件内容部分	22
4.2.1	各依頼場面の調査結果と特徴の対照分析	23
4.2.2	各協力者における要件内容部分の分析と考察	36
4.3	依頼会話の終了部分	52
4.3.1	各依頼場面の調査結果と特徴の対照分析	52
4.3.2	各協力者における終了部分の分析と考察	55
第5章	総合的分析と考察	57
5.1	知り合いに対する依頼表現の対照分析と考察	57
5.1.1	依頼負担度による対照分析	57
5.1.2	親疎関係による対照分析	58
5.1.3	上下関係による対照分析	58
5.1.4	知り合いに対する依頼表現の考察	59
5.2	見知らぬ人に対する依頼表現の対照分析と考察	64
5.2.1	見知らぬ人に対する依頼表現の対照分析	64
5.2.2	見知らぬ人に対する依頼表現の考察	65
5.3	中国人日本語学習者の依頼表現に関する総合的考察	72
5.3.1	母語話者の評価からの考察	72
5.3.2	学習者の自己評価からの考察	74
第6章	おわりに	78
6.1	まとめ	78
6.2	今後の課題	79

参考文献

資料

キーワード【依頼表現 談話完成テスト 教科書分析 フォローアップインタビュー】 要旨

私たちの日常生活においては他者に何か求めることが多い。依頼という発話行為は自分の利益のために相手にある程度の負担をかける行動なので、外国人として目標言語を使ってなにか依頼するとき、うまく伝えられれば手伝ってもらえるが、逆にうまく伝えられなければ、誤解が生じて相手に迷惑をかけ、礼儀がない人だと思われる恐れがある。したがって、外国語としての日本語の教育において依頼ための言語表現は学習の項目として重要だと思われる。

しかし、依頼表現に関する先行研究では日本語母語話者と日本語学習者の対照が多く行われており、中国人日本語学習者を中心とした依頼表現の使用状況についての研究はまだ多くない。学習者のコミュニケーション能力に大きな影響を与える学習環境は重要だと思われるが、日本の滞在経験の有無が中国人日本語学習者の依頼行動にどのような影響を与えるかについての研究はまだ足りない。

本研究は以下の疑問を明らかにして、依頼表現に関する日本語教育への一つの示唆となることを目的とする。

- ①中国国内の学習者、日本国内の学習者と日本語母語話者のそれぞれの依頼表現に関してどのような使用状況なのか。どのような相違点があるか。また、その相違にはどのような原因があるか。
- ②日本での滞在歴の有無による中国国内の学習者と日本国内の学習者の依頼表現の使用にはどのような違いがあるか。異なる特徴があるとすれば、どのような理由があるか。
- ⑤中国国内の学習者と日本国内の学習者は依頼表現に関してどのような意識を持っているか。

本研究の調査は談話完成テスト調査、教科書調査とフォローアップインタビュー調査からなっている。

2013年7月から10月にかけて中国国内と日本国内の中国人学習者各20名と日本語母語話者20名を対象とし、依頼に関する談話完成テストを行った。談話完成テストでは、親疎関係、上下関係、負担度などにより12問の場面を設定しどのような表現を使うかを聞いた。

そして、海外の日本語教育では、教科書の役割が重要だと思われ、学習者の言語使用の一つの根拠になり、学習者にとってどのような日本語を身につけるかは教科書からの影響が大きい。そこで、中国での大学や専門学校、言語学校で精読授業によく使用される教科書を調べてみた。本研究は予備調査の8名と本調査の40名の中国人学習者が使用したことがある教科書の記述を参考にし、4種類の教科書を合わせて、17冊の精読教科書を選び、分析することにした。

更に、談話完成テストだけの調査では、中国人学習者の依頼表現の使用状況を把握するのは不可能だと思うので、談話完成テストの調査対象の各協力者グループから3人ずつを選び、フォローアップインタビューをした。

本研究の分析の枠組みは談話完成テストの12問の場面×依頼表現の前置き部分、用件内容部分、終了部分の3つの部分でどのような項目を使用しているかを集計して、それぞれの使用状況を表あるいは図に整理して、比較しながら分析をした。

または、教科書分析、フォローアップインタビュー調査、先行研究などを通して、親疎関係、上下関係、負担度などの依頼条件の異なりによって使われる表現にどのような特徴があるかを総合的に考察してみた。

更に、中国人日本語学習者の依頼表現の使用状況についての原因と使用意識をフォロー

アップインタビュー調査のデータに基づきより深く分析してみた。

本研究は中国国内の学習者、日本国内の学習者と母語話者のそれぞれの依頼表現に関する使用状況とその原因を把握することができた。各調査協力者グループは依頼前置きではじめ、用件内容部分を述べ、依頼の受諾への謝礼を終了するという特徴が見られた。しかし、母語話者は各依頼場面によって自分の言語表現を工夫し、様々な方略を考えていたのに対して、学習者は依頼表現に関するストラテジーの使用がまだ足りないという状況がわかった。その原因は日本語の文型表現そのものの難しさ、対人関係による丁寧度の使い分けの複雑さ、異文化による影響、母語からの移転などがある。

更に、依頼条件の異なりによって使われる表現を総合的に考察した結果は、母語話者は「対人関係」を重視し、場面によって複数の依頼前置きを使用し、異なる文型表現を用いたという結果が見られた。それに対して、日本国内の学習者は依頼の形をまねることにこだわり、母語話者とすこし異なる特徴が見られた。中国国内の学習者は母語の直訳と教科書から学んだ知識の影響で、単一の前置き表現を使用し、違う場面でも同じ依頼表現を使用してしまったという結果が見られた。

これらの特徴から見られた問題点は「依頼」に関連する中国の日本語教育では依頼表現に関する指導が足りず、文型表現の形と意味の指導に留まっていることである。それゆえ、「依頼」に関するストラテジーを中国の日本語教育に取り入れ、相手との関係によって適切に自分の言語表現を変化させる能力などを育成すべきだと考えられる。

参考文献

- 岡本真一郎 (1986) 「依頼の言語的スタイル」『実験社会心理学研究』第 26 巻 第 1 号 pp. 47-56
- 母育新 (2011) 「依頼行動における中国人日本語学習者の問題点—ディスコース・ポライトネス理論の観点からの考察—」『東京外国語大学日本研究教育年報 15』 pp. 41-56
- キョ・ティダー (2004) 「依頼しにくい場合の『依頼表現』」『早稲田大学日本語教育センター紀要』No. 17 pp. 71-93
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵 (1993) 「『依頼表現』方略の分析と記述—待遇表現教育への応用に向けて—」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』No. 5 pp. 52-69
- 柏崎秀子 (1992) 「話しかけ行動の談話分析—依頼・要求表現の実際を中心に—」『日本語教育 79 号』 pp. 53-63
- 熊取谷哲夫 (1995) 「発話行為理論から見た依頼表現—発話行為から談話行動へ—」『日本語学』14 巻 10 号 明治書院 pp. 12-21
- 小池真理 (2000) 「日本語母語話者が失礼と感じるのは学習者のどんな発話か—「依頼」の場面における母語話者の発話を比較して—」『北海道大学留学センター紀要』No. 4 pp. 58-80
- 鮫島重喜 (1998) 「コミュニケーションタスクにおける日本語学習者の定型表現・文末表現の習得過程—中国語話者の『依頼』『断り』『謝罪』の場合—」『日本語教育 98 号』 pp. 73-84
- 谷口龍子 (2006) 「日本語と中国語における依頼の丁寧度」『社会科学ジャーナル』57COE 特別号 pp. 393-408
- 中道真木男・土井真美 (1995) 「日本語教育における依頼の扱い」『日本語学』14 巻 10 号 明治書院 pp. 84-93
- 仁田義雄 (2003) 『現代日本語文法 4 第 8 部モダリティ』日本語記述文法研究会編 くろし出版 pp. 71-119
- バリー カヴァーナ (2010) 「普通体と丁寧体の使用法についての考察」『青森保健大雑誌』11 pp. 11-87
- 日高水穂・伊藤美樹子 (2007) 「スピーチレベルシフトの表現効果—シナリオ『12人の優しい日本人』を題材に—」『秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学』62 pp. 1-12
- 益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法—改訂版』 pp. 119-127
- 森山卓郎 (1995) 「『丁寧な依頼』のストラテジーと運用能力—依頼の手紙の書き方を例に—」『日本語学』14 巻 10 号 明治書院 pp. 94-101
- 頼 美麗 (2008) 「依頼場面における『謝罪』と『感謝』—『待遇コミュニケーション』の観点から—」早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 李宜真 (2008) 「依頼の言語行動に関する日中語対照研究—ポライトネスの観点から—」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』No. 3 pp. 117-129
- 和田由里恵・堀江薫・北原良夫・吉本啓 (2008) 「日本語学習者の依頼におけるポライトネスストラテジー—日本語学習者の母語と日本語の比較—」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』No. 3 pp. 293-300
- 和田由里恵・堀江薫・北原良夫・吉本啓 (2010) 「依頼表現における日本語学習者の中間言語—中国語母語者・韓国語母語話者の母語移転」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』No. 5 pp. 171-177